

# 会報



## 校歌 『愛の学び舎』

井田誠一 作詞

宮田 進 作曲

すずかけの 若葉の窓べ  
友と語らう 今日のよろこび  
平和の小鳩 空たかく  
ああ あふれる 智恵の泉  
自由の学び舎 八王子学園

武蔵野の みどりの丘べ  
友と夢みる 明日のしあわせ  
文化の光 野にみちて  
ああ きらめく 若き力  
自由の学び舎 八王子学園

花かおる 心の広場  
日ごといそしむ 愛のまなびや  
希望の旅路 雲とおく  
ああ はばたく 智恵のつばさ  
自由の学び舎 八王子学園



## ご 挨拶

八王子学園同窓会

会長 山田 実

平素は同窓会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

同窓会の活動も、卒業生諸氏を始め皆様方のご支援を戴きながら、滞りなく進めることが出来、感謝しております。

コロナワクチンの接種も進み、コロナ感染者も少なくなりましたが、大人数でのイベントの開催は好ましないと考え、本年度も同窓会総会・懇親会は中止にいたしました。しかしながら、幹事各位の意向を集め、また、同窓会の運営のご助力をお願いいたしたく、幹事会を招集させていただきました。同窓生の皆様にお会いできないことは残念ですが、会員皆様へのコロナウィルス感染防止との観点から、ご理解をいただければ幸いです。同窓会会員の皆様にお詫び申し上げます。なお、初の試みとして、同窓会幹事会のネット配信を行いました。ご利用した方もおられるかと思えます。同窓会総会のネット配信を、今後の課題として検討したと思えます。

活動報告や決算書などの書類は、例年通りこの会報に記載しております。次回の総会で3年分を纏めての報告・承認をお願いすることになります。また、会報は、八王子学園ホームページの「卒業生の皆様」にもアップしてありますのでご参照ください。

今年度の同窓会の活動ですが、昨年同様にコロナ禍の影響で、激励金等の贈呈は、吹奏楽部マーチング全国大会出場の一件です。全国大会などの壮行会もなく、同窓会の主要な活動も果たせていません。また、学園祭なども、来訪者なしで生徒のみでの開催となっています。

明るいニュースとしては、高校3年生の羽田 慎之介君がドラフト会議で埼玉西武ライオンズより4位指名を受けました。また、少し前ですが、インターハイ競泳で高校2年生の岡村 梨香さんが、女子400m自由形で優勝しました。生徒の活躍に拍手を送り、今後の成長と活躍を願っています。

本年11月に同窓会創立80周年を迎えましたが、コロナ禍で総会開催も行えず、記念総会の実施につきましては、今後実施するかも含めて検討を行います。新型コロナウイルス感染症が治まり、来年こそは皆様とお会いできることを楽しみにしております。

## ご挨拶

学校法人八王子学園  
理事長 塚本吉紀

同窓生が一堂に会することをできにくくしている新型コロナウイルス感染症が終息へ向かう気配もない状況に不安と恐怖を感じる日々です。

皆様にはお変わりなくご健勝にて日々送られていることとお喜びを申し上げます。

学校は学年という線がありその年度にやらねばならぬことが沢山あり、そこで感染症の感染拡大の中でも、学校生活の時間を少しでも多くし、生徒が多くの経験や授業を受け、人として備えること、体験し身に着け、成長することを願い日々進めております。

今年度はオリンピック、パラリンピックが新型コロナウイルス感染症が拡大の中、無観客のもと実施されました。オリンピック 2020 では本園卒業生の橋岡優輝君が男子走り幅跳びにて6位入賞という素晴らしい活躍をしました。今年度も中・高校生のスポーツ、芸能関係の大会やコンクールが中止、縮小、諸制限のもとでしたが地域、全国大会が実施されました。中・高の諸クラブが成果を上げています。中学陸上部が東京大会の女子の部で総合優勝、高校男子バスケット部がインターハイでベスト16に、吹奏楽部がマーチングコンテストで東京代表になる。水泳部の岡村梨香さんがインターハイにて400m自由形で優勝、高校の陸上部が5種目に出場し走幅跳で4位入賞、そのほかいろいろの部において活躍をしていました。この機会を楽しみに、張り合いと夢をもち日々活動していた生徒の思いや夢が実現できる場を作るのに関係者はご苦労されたことが感じられました。

学校行事は縮小、内容変更をするものの実施へ、しかし、グローバルな資質をと進めている海外へ行く行事はすべて中止、高校3年生、2年生は学校教育の中で体験をし、今後の進路選択や自分の生き方への多くの示唆を得られる機会を持つことが少なくなり残念に思っております。令和二年度の卒業生の大学への進学面では、ほぼ前年と同じ状況で、自分が望む進学先に多くの生徒が合格できました。

本園の教育理念「人格を尊重しよう」「平和を心につちかおう」を生徒がしっかりと心に刻み、自らの日々の生活の中で修得に努力をしてほしいと思います。先生方の温かい支援と援助の言葉かけ、教師自らが言動で示す場面に多くの生徒が触れることを願っています。そして、多くの卒業生が築いてくれた社会での八王子学園の存在を、後輩たちがしっかりと見つけ、理解し、肝に銘じ努力をし、引き継いでくれることと思っています。

少子高齢化が進む社会の中で、学校はどのような教育体系をとるのが望ましく発展ができるのかを問われていると思います。少子化だけに多くの保護者は我が子が「自分を磨く向上心や意欲を持ち自分を活かせる人間に成長をしてほしい」という願いを持っていると思います。幼稚園で自ら「やろう、わかろう」の気持ちを育て、それを受け小学校での学びの意欲や向上心の礎を育てる教育、このような継続教育を望んでいますが、今の学園には小学校がなく“自らを磨く意欲”への継続教育が出来ないのが残念です。そんな中ではあるが「保護者が願う生徒像」に我が子を育ててもらえる学校として八王子学園を選ぶよう願っています。それには本園の卒業生の声援や見本像が大きく影響を持つのではないのでしょうか。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染防止の関係から今年度の総会が中止となり残念に思います。同窓生の皆様のご健勝とご活躍をお祈りし、未永い母校へのお力添えをお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

## ご挨拶と本校の様子

八王子学園八王子中学校・高等学校  
校長 小山 貢

同窓会会員の皆様におかれましては、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、本校創立以来、八王子学園八王子中学校・高等学校が発展し今日に至る間、クラブ活動や教育活動などに対する物心両面のご支援を頂き深く感謝しております。

本年は、新型コロナ対策を施し、4月より授業時間を5分短縮し開始しました。9月も短縮時間割を継続しておりますが、寒さを迎え状況が更に深刻化するのではないかと心配するとともに、早くこの新型コロナ禍が終焉することを願っております。

その中で実施された2回目の開催となる東京オリンピック・パラリンピックに本校から3名の卒業生が出場しました。橋岡優輝さんが走り幅跳びで6位入賞、足立和也さんがカヌースラロームで準決勝進出、志田淳さんがパラリンピック女子マラソンで優勝した道下美里選手の後半のガイドランナーとしてゴールテープを切りました。

平成24年度に中学校を開校し10年目を迎え、在校生は中学校10クラスで309名、高等学校は37クラスで1446名、中高合計1755名の在籍となりました。

創立者市川英作先生の教育理念「人格を尊重しよう・平和を心につちかおう」に基づき、生徒の多様な価値観や将来の希望に合わせて、中学では東大医進クラスと一般特進クラスのコース制を採用しています。高校では文理コース、総合進学コース、アスリートコースの3コース制を採用しています。

同窓会の皆様には、今後とも変わらぬご協力とご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、ますますの発展をご祈念いたします。

### ◆主要大学別入試結果(2021年4月)

大学名	学部名	現役	過年	合計
北海道	総合入試文系	1	0	1
弘前	医	0	1	1
筑波	理工	1	0	1
千葉	教育	1	0	1
東京	理科二類	0	1	1
東京外国語	国際社会	1	0	1
東京学芸	教育	1	1	2
東京芸術	音楽	1	1	2
東京海洋	海洋工	1	1	2
東京農工	工	2	0	2
東京農工	農	0	1	1
一橋	商	1	0	1
金沢	人間社会	0	1	1
富山	工	1	0	1
信州	繊維	1	0	1
京都	工	0	1	1
九州	芸術工	0	1	1
鹿児島	水産	1	0	1
鹿屋体育	体育	1	0	1
会津	コンピューター理工	1	0	1
埼玉県立	保健医療福祉	1	0	1
東京都立	人文社会	2	0	2
東京都立	経済経営	2	0	2
東京都立	理	1	0	1
東京都立	都市環境	1	1	2
東京都立	システムデザイン	4	0	4
東京都立	健康福祉	1	0	1
横浜市立	国際商	1	0	1
都留文科	文	0	2	2
公立諏訪東京理科	工	0	1	1
長野県立	健康発達	1	0	1
名古屋市立	医	0	1	1
国公立合計		29	14	43
早稲田	文	1	0	1
早稲田	文化構想	1	0	1
早稲田	教育	2	1	3
早稲田	商	1	1	2
早稲田	先進理工	1	0	1
早稲田	人間科学	1	1	2
早稲田	社会	0	1	1
早稲田	スポーツ科	0	1	1
早稲田合計		7	5	12

大学名	学部名	現役	過年	合計
慶應義塾	文	2	0	2
慶應義塾	理工	1	0	1
慶應義塾	経済	0	1	1
慶應義塾	法	0	1	1
慶応合計		3	2	5
上智大学		3	2	5
東京理科大学		7	10	17
早慶上智理科大合計		20	19	39
明治		36	12	48
青山学院		19	10	29
立教		14	5	19
中央		27	20	47
法政		30	21	51
MARCH合計		126	68	194
弘前	医	0	1	1
名古屋市立	医	0	1	1
岩手医科	医	0	1	1
獨協医科	医	0	2	2
杏林	医	0	1	1
帝京	医	1	0	1
日本	医	0	1	1
愛知医科	医	0	1	1
東京歯科	歯	0	1	1
日本	歯	0	1	1
日本	松戸歯	0	1	1
城西	薬	1	0	1
日本薬科	薬	4	0	4
帝京平成	薬	2	0	2
昭和薬科	薬	1	0	1
帝京	薬	1	0	1
東京薬科	薬	1	0	1
武蔵野	薬	1	0	1
明治薬科	薬	1	0	1
横浜薬科	薬	1	1	2
北里	獣医	2	0	2
日本	生物資源(獣医)	1	0	1
日本獣医生命科学	獣医	1	1	2
麻布	獣医	1	0	1
医歯薬獣医合計		19	13	32

# 令和2年度 事業報告

## ◎支援金等の贈呈について

本年度も各部門で在校生の目覚ましい活躍がありました。そこで、本会では母校在校生の芸術、スポーツ等の部門で優れた活動、成果に対し同窓会の事業の一環として「支援金等支給規定」に基づき之を顕彰し支援金等を贈呈した。

## ◎同窓会々報の発行

令和2年11月 1日 同窓会報第22号を発行した。

## ◎卒業生に記念品の贈呈

「祝卒業 八王子学園同窓会」の銘を入れた電波時計を贈る。また、「同窓会報」を特別に装丁し、卒業生全員に配布した。

## ◎会議等の開催、他


令和2年10月 3日	コロナ禍により役員会を中止した。
10月17日	決算監査並びに役員会を開催した。
〃	コロナ禍により幹事会を中止した。
11月 1日	コロナ禍により総会並びに懇親会を中止した。
令和3年 3月28日	役員会を開催した。
9月18日	役員会を開催した。
9月22日	吹奏楽部マーチング全国大会出場激励金を高梨先生に贈呈した。


# 監査報告書

令和3年10月16日

八王子学園同窓会

会長 山田 実 殿

監 事 長谷部建司 

監 事 池上洋平 

私共は、八王子学園同窓会の令和2年度（第80回、令和2年10月1日から令和3年9月30日まで）収支報告書について、本日、同窓会事務局内で監査いたしました。

監査の結果、下記のとおりご報告いたします。

## 記

八王子学園同窓会の令和2年度収支報告書は、銀行等通帳、帳簿記録及び証憑書類の記録と一致しており、また、収入及び支出の内容については特に指摘すべき事項はありませんでした。

よって、私共は上記の収支報告書が八王子学園同窓会の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

## 令和2年度(第80回) 八王子学園同窓会収支報告

自 令和2年10月 1日  
至 令和3年 9月30日

### 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
前年度繰越金	12,613,212	12,613,212	普通預金(7,425,773円、多摩信用金庫散田支店) 定額郵便貯金(5,000,000円)、郵便貯金(187,439円)
入会金(終身会費)	3,402,000	3,395,000	@7,000円×485名
預 金 利 息	50	68	普通預金利息
雑 収 入	40,000	0	
合 計	16,055,262	16,008,280	

### 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
総 会 費	500,000	0	コロナ禍により総会開催中止
会 議 費	150,000	50,430	役員会々議費
印 刷 製 本 費	250,000	187,903	卒業生配布用会報印刷代(154,000円) 幹事会開催通知印刷代(20,757円)、総会開催中止ハガキ印刷代(13,146円)
事 務 局 費	150,000	150,000	諸経費
通 信 費	150,000	124,470	幹事委嘱状郵送用切手代(2,880円)、幹事会開催通知用往復ハガキ代(81,900円) 総会開催中止通知用ハガキ代(39,690円)
交 通 費	30,000	15,028	役員交通費
支 援 費	1,800,000	910,000	クラブ支援金等(支援金720,000円、激励金100,000円、八学杯協賛金90,000円)
慶 弔 費	30,000	0	
諸 会 費	20,000	0	
記 念 品 費	500,000	456,319	卒業記念品代(電波時計 @937円×487個)
雑 費	50,000	0	
予 備 費	2,300,000	0	コロナ禍により同窓会創立80周年記念事業開催中止
合 計	5,930,000	1,894,150	

差 引 残 高	10,125,262	14,114,130	次年度繰越金 普通預金(8,926,691円、多摩信用金庫散田支店) 定額郵便貯金(5,000,000円) 郵便貯金(187,439円)
---------	------------	------------	---



## 令和2年度 クラブ別支援費内訳

クラブ名	金額
吹 奏 楽 部	100,000 円
書 道 部	90,000 円
陸 上 競 技 部	210,000 円
男子バスケットボール部	100,000 円
水 泳 部	145,000 円
柔 道 部	115,000 円
野 球 部	150,000 円
計	910,000 円

## 令和3年度 事業計画

例年の同窓会活動を踏襲するとともに、同窓会活動の活性化と効率化を図る活動を進めて参ります。

なお、令和2年度に実施を予定しておりました同窓会創立80周年記念事業はコロナ禍により中止とし本年度に繰り越されることになりました。よって本年度の事業計画等について変更になる場合があります。

### ◎支援金等の拠出について

同窓会の事業として、母校在校生の優れた活動に対し行う援助活動は本年度も継続して実施して参ります。

### ◎同窓会報の発行

同窓会報を令和3年11月1日に発行します。また3月には新会員用（卒業生用）の会報を作成し、配布する予定です。

### ◎卒業生に記念品の贈呈

新卒業生に対する記念品の贈呈は、例年の通り本年度も実施の予定です。

### ◎会議等の開催

三役会、役員会、理事会、幹事会等の会議を開催し、必要に応じ会則の検討、会報発行に係わる委員会を開催します。

### 同窓会からのお知らせ

#### ◆令和3年度 同窓会定期総会について

下記のとおり開催いたしますので、同窓生の皆様奮ってご参加下さい。

日時 令和4年11月6日(日) 午後1時より

会場 母校マルチメディア教室

※総会終了後、懇親会を開催する予定です(会費1,000円予定)。

## 令和3年度(第81回) 八王子学園同窓会収支予算

自 令和3年10月 1日  
至 令和4年 9月30日

### 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	14,114,130	普通預金(8,926,691円、多摩信用金庫散田支店) 定額郵便貯金(5,000,000円)、郵便貯金(187,439円)
入会金(終身会費)	3,500,000	@7,000円×500名
預 金 利 息	50	普通預金利息
雑 収 入	40,000	懇親会参加費(@1,000円)、他
合 計	17,654,180	

### 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	摘 要
総 会 費	500,000	総会々食代、他
会 議 費	150,000	役員会・理事会・三役会・幹事会等会議費、他
印 刷 製 本 費	250,000	卒業生配布用会報印刷代、総会配布用会報印刷代 幹事会・総会出欠往復ハガキ及び総会開催ハガキ印刷代、他
事 務 局 費	150,000	諸経費
通 信 費	150,000	幹事委嘱状郵送代、幹事会・総会出欠往復ハガキ代、総会開催通知ハガキ代、他
交 通 費	30,000	役員交通費、他
支 援 費	1,500,000	クラブ支援金、他
慶 弔 費	30,000	
諸 会 費	20,000	
記 念 品 費	500,000	卒業記念品代、他
雑 費	50,000	
予 備 費	2,300,000	同窓会創立80周年記念事業費、他
合 計	5,630,000	

差 引 残 高	12,024,180	次年度繰越金 普通預金(6,836,741円、多摩信用金庫散田支店) 定額郵便貯金(5,000,000円) 郵便貯金(187,439円)
---------	------------	---

# 支援金支給クラブの活動報告



同窓会の皆様には、日頃より多大なご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際にはご援助も頂き、重ねて御礼申し上げます。

さて、今年のご報告ですが、まずは8/10(火)～15(日)府中の森芸術劇場で行われた『第61回東京都高等学校吹奏楽コンクール』にA組(55名)・B組(35人)・C組(20人)の全部門に出場致しました。一昨年度同様、B組は名誉顧問の高瀬新一郎先生に指揮をとっていただき、A,C組を私が指揮をさせていただきました。今年も全ての組で金賞を受賞、A組は無事に東京都大会へ駒を進め、B,C組は金賞の中でも第1位に当たる最優秀賞を受賞しました。コンクールは人数制限があることから、舞台に立てないS(サポート)組も20名以上おります。その生徒たちの懸命なサポートこそが各組が本番で力を発揮できる大きな要因にもなり、全組が最高位を受賞するという快挙を成し遂げることができました。



そして9/12(日)に行われた『第61回東京都吹奏楽コンクール』に出場しました。会場は、予選と同様府中の森芸術劇場で行われました。この大会は、8月の予選で出場した52校のうち上位12校が出演するもので、どの学校も大変素晴らしい演奏を披露しました。今年は、本校を含む6校が金賞を受賞するというハイレベルな争いになり、その中の上位2団体が全国大会への推薦を受けますが、残念ながら本校は選出されませんでした。本番の演奏が上出来であったけにとても悔しい結果となりましたが、真摯に受け止め、また来年に繋げていきたいと思えます。



次に、『第34回全日本マーチングコンテスト東京都大会』が8/29(日)にエスフォルタアリーナ八王子で開催され、本校は高校以上の部に出場しました。3団体が出場し、本校を含む2校が金賞を受賞。その2団体が全国大会へ推薦されることになりました。コロナ禍での開催により、出演団体も大幅に減ってしまいましたが、東京代表としての責任をしっかりと果たし、前回大会に引き続き全国金賞を受賞できるように更に磨きをかけて参ります。全国大会は11/21(日)大阪城ホールで行われます。お客様の動員についてはまだ未確定ではありますが、本校の名を全国の舞台でしっかりとアピールできるように精進して参ります。

コロナ禍での活動は、非常に難しいことも多く、生徒たちも十分に練習できないもどかしさが否めませんが、この状況下でも活動をさせていただいていることには感謝しかありません。日頃より厚いご声援をくださる同窓会の方々をはじめ、学校関係者、保護者の方々、その他本当に多くの方々のお陰と心より感謝申し上げます。今できることに精一杯向き合い、一つ一つの本番を大切に、本気で楽しめる音楽を目指し、持ち前の笑顔で元気に活動してまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導の程、よろしくお願い致します。



令和3年10月4日

## 八王子学園八王子中学校八王子高等学校 書道部 2020～2021年 活動報告

顧問 笹川裕子

コーチ 鈴木希美

同窓会の皆様には平素より多大なご支援をいただきありがとうございます。

以下に2020年10月から2021年9月までの書道部活動報告をさせていただきます。部員数は15名(内中学生10名)で、全て女子です。

●2020年10月は毎日新聞社主催の「第29回国際高校生選抜書展」通称「書の甲子園」と呼ばれる展覧会に出品。全紙大(137cm×75cm)または半切大(137cm×37.5cm)と大作品のため、です。出品料は無料ですが、入選すると作品を表装して展示するので、表装料を同窓会から援助して頂きました。結果は次の通りです。

### 2020年10月 「書の甲子園」

秀作賞	2年	金嶽 奈央
入選	2年	北 玲弥菜
入選	1年	小嶋 小雪
入選	1年	小林 愛夏莉

●2021年3月は「第57回創玄展」と併設している「第57回創玄学生展」に出品しました。作品の表装料は同窓会から援助して頂きました。結果は次の通りです。

### 2021年 3月 「創玄学生展」

毎日新聞社賞	1年	小嶋 小雪
学年優秀賞	2年	金嶽 奈央
学年優秀賞	1年	小林 愛夏莉
特選	2年	山口 ここも
特選	2年	北 玲弥菜
特選	2年	柏原 和香
特選	1年	臼井 夏美
特選	中2年	田中 心美
秀作	1年	羽野 眞綾
秀作	1年	伊東 桃奈
秀作	中2年	椿 弥那美
秀作	中1年	秋元 柚乃
秀作	中1年	田中 杏音



上：特選（山口ここも）  
左：毎日新聞社賞（小嶋小雪）

子安神社 七五三参り



学園祭



## 勤続40年を終え

八王子学園  
柔道部監督  
川野 昭吾

八王子学園の同窓会におかれましては、日頃より私をはじめ柔道部の部員達には言葉では言い表せないような恩義を賜り、心より感謝いたすと同時に深く御礼申し上げます。



私も昭和56年4月に八王子学園高等学校に幸いにも専任教諭として奉職し、はや40年が過ぎました。いよいよ来年の3月には定年退職を迎え、長かった教員生活にピリオドを打ちますが、この間も歴代の理事長先生や校長先生をはじめ多くの先生方にしっかりと支えて頂きながら、そして温かく見守って頂きながら歩んで参りました。この皆様方のご助言や支援がなければ私の41年にわたる教員生活は有り得なかったと言っても過言ではありません。

また、赴任1年目より柔道部の監督を務めさせて頂き、部員の指導に邁進する環境を与えて頂き、以来今日まで同職を全うする事が出来ました。当初は白帯でギリギリのような貧弱な体格をした部員が5名いただけという悲惨な状態



でしたが、周りの強豪校の先生方のご助言やご教授により、東京都のみならず関東地区・全国地区でも認識される高校へと成長を遂げる事が出来ました。その間に200名を超す教え子達と出会い、私の厳しくも激しい稽古に誰一人弱音を吐く事も無く、必死に歯を食いしばりながらついて来ました。その教え子達はそれぞれ3年間、内容のある柔道修行生活を送り、充実した高校時代を過ごしたものと自負致しております。歴代の教え子の中にはオリンピックのメダリストであり、世界チャンピオン、全日本柔道選手権五連覇など柔道界のスーパースターと君臨した小川直也をはじめ大学・シニアの大会で日本一に輝いた藤阪太郎、警察官日本一に輝いた古田秀州など世界的な舞台で活躍した教え子達や他にも国際大会や大学柔道界で好成績をあげた教え子達も多くおり、本当に素晴らしい教え子達に恵まれたと改めて実感いたしております。しかし、どのような素質を持った選手でもそれを鍛え上げる環境が無ければ開花しないので、その環境確保に大きなご支援やご助言を賜りました同窓会の皆様の恩義を柔道部の一人一人がしっかりと認識し、心より感謝する事を忘れてはいけないものかと強く感じております。これかも末永く柔道部に深いご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。40年間、本当にお世話になりました。

### 《関東・全国大会以上の戦績》

☆関東高校柔道大会	男子団体戦（21回出場、ベスト8入賞2回） 男子個人戦（2名出場、5位入賞他） 女子個人戦（10回出場、準優勝1名、3位2名）
☆インターハイ	女子団体戦（2回出場） 男子個人戦（4名出場、3位1名、5位2名他）
☆金鷲旗争奪全国大会	男子団体戦（ベスト16入賞2回、ベスト32入賞5回） 女子団体戦（3回出場）
☆全国体育系柔道大会	男子団体戦（12回出場、優勝1回、準優勝1回、3位3回）
☆高校柔道選手権	男子団体戦（2回出場） 男子個人戦（1名出場、5位入賞） 女子個人戦（10回出場、準優勝1名、3位1名、5位2名）

※上記の成績が、卒業生達が在学中に残した関東大会以上の大会における戦績です。

また、昨年・一昨年とコロナの影響で次々と大会が中止になる中、辛うじて開催された高体連関連の大会の戦績が次の通りです。

稽古自体にも制限があり、少ない時間を上手く活用して修行して来た結果です。例年にも劣らないものであると自負致しております。ご覧ください。

### 《令和2年・3年度東京都高体連関連の戦績》

☆令和2年度東京都学年別体重選手権	軽量級 3位(山本 蓮) 重量級 3位(及川 鉄郎)
☆令和2年度高校選手権東京都大会	重量級 5位(松下 康生)
☆令和3年度関東高校柔道東京都大会	団体戦 5位 ※関東大会出場(21回目) 無差別級 5位(松下 康生) 5位(野中 洸希) 5位(杉山 琢飛)
☆令和3年度インターハイ東京都大会	団体戦 5位 100kg級 3位 杉山 琢飛) 100kg 超級 3位(松下 康生) 100kg 超級 3位(野中 洸希)

## 毎年の応援に感謝いたします

八王子学園八王子高等学校

陸上競技部顧問 渡邊 大輔

日頃より同窓会の皆様には、関東大会、インターハイ、全国駅伝出場の際に激励の言葉や支援金を戴いたりとお世話になり有難うございます。

今年度のトラック&フィールドの試合結果は、5月の都総合体育大会では、男子総合3位、女子は5位という結果を残しました。この都大会の結果、神奈川県等々力競技場で行われた関東大会には多人数の出場となりました。



関東大会では男子1名、女子3名が6位以内に入賞し、5種目4名が7月28日から8月1日まで福井県 9.98 スタジアムで行われたインターハイに出場することが出来ました。インターハイでは、女子走幅跳で4位入賞を果たしました。他の種目でも、決勝まであと一步の所で涙をのんだ種目も多く、有望な1、2年生が多くいるので、来年は今年より多く入賞することを目標としていきたいと思います。また6月には、U20 日本陸上競技選手権大会が大阪ヤンマースタジアム長居でおこなわれ、女子走幅跳で3位に入賞しました。

現在、短距離、跳躍においては都新人大会（9月23、25、26日実施）に臨んでいます。この新人大会で3位までの入賞者は、10月に茨城県で開催される関東選抜新人大会に出場できます。また、10月には U18・16 日本選手権も愛媛県で開催されます。全国レベルの標準記録を突破し4名がエントリーしています。

U18・16 日本選手権、関東選抜新人大会に出場出来なかった者においては来年の活躍を目指し日々練習に励んでいる毎日です。また、10月30日に行われる都駅伝では、男子のみの出場になりますが、6位入賞（関東大会出場）を目標に練習に励んでいます。

去年、今年と非常に良い流れができていますので、来年度におきましても、今年以上の結果を求め頑張っていきたいと思います。今後とも応援の程よろしくお願い致します。

## 【乾坤一擲】【全国制覇】

八王子学園八王子高等学校  
男子バスケットボール部  
顧問 伊東 純希

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

今年度は、今まで通りとはいきませんが、大会が開催され、目標を持って練習に励むことができました。大会結果としては、関東大会予選では選手一人一人の日々の成果が発揮でき、優勝することができま



した。また、関東大会本戦でもモチベーションを落とさず、継続できたことで優勝することができました。

インターハイ予選では惜しくも準優勝ではありましたが、インターハイに出場することができました。本戦では1回戦県立川内（鹿児島）55 - 86、2回戦明德義塾（高知）81 - 90 で勝ちました。しかし、3回戦飛龍（静岡）74 - 72 で惜敗し、ベスト 16 という結果で大会を終えました。現在はウィンターカップ予選に向けて日々練習に励んでおります。

また、本校より国民体育大会 1 名が選出されました（1 年：笠木）。今年度は、国体関東ブロックが開催され、彼の活躍もあり、東京都は準優勝となり、本戦出場を勝ち取りました。しかし、新型コロナウイルスの影響で国民体育大会がなくなりました。本校の選手が全国レベルにおいて高い評価を受けるに至っております。今後は高校バスケットボール界の最高峰“ウィンターカップ”、その予選突破と本大会出場を目指し、現在、日々練習に励んでいます。

インターハイ 1 8 回出場、関東大会 2 0 回出場を果たすものの、未だ強豪チームとは言い難く、これからも日々精進し、チームの目標、“全国制覇”“日本一”をもう一度勝ち取る為に、頑張っていきたいと思えます。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしくお願いいたします。

## 2021年 水泳部の活動報告

八王子学園八王子高等学校

水泳部顧問 前田 彩子

2020年9月1日の始業式から現在の2年生と3年生年生の新たなチームで活動を開始しました。しかし2020年は新型コロナウイルスの影響で、殆どの大会が中止となりましたが、11月に全国のランキングが出る通信大会が水泳連盟と高体連主催で行われました。この大会では蜜を避けるため、選手は自分のレースの時間に来て、終わり次第すぐに退館するというものだったため、1年生と2年生の交流はほぼ無い状態で終わりました。また、応援も出来ず、水泳部の仕事も覚えられないまま終わってしまいましたが、久しぶりの大会出場に、2021年度に向けての目標を出すことが出来ました。全国ランキングが出ることによって、全国の高校生が同じような状況の中、各自できるトレーニングをしてきたことも分かり、励みになりました。

2021年4月男子5名・女子10名の新入部員を迎え、男子20名・女子31名の51名で1年生から3年生まで揃ったチームがスタートしました。

今年度も昨年に引き続き、緊急事態宣言の為、恒例の5月のGW合宿は中止とし、各自がスイミングスクールで練習をしました。高等学校春季水泳競技大会も高体連の先生方が準備をして下さっていましたが、緊急事態宣言延長のため中止となりました。そのため、5月30日にお世話になっているスイミングスクールをお借りして、校内選考会を実施しました。全員が集まって泳ぐことは無かったため、少しの交流の機会にもなり、それぞれがレギュラー獲得のため真剣に勝負しました。その結果、6月22日、23日に開催された東京都高等学校選手権大会において、男女ともに総合3位という結果を残すことができ、関東大会に個人で19名の生徒が出場することが決まりました。2021年は延期された東京オリンピックの影響で、千葉国際水泳場にて行われましたが、多くの方々の応援により、快適に試合に臨むことが出来ました。やはり、新型コロナウイルスの影響で、2021年度は関東大会、インターハイでリレーが実施されず、この大会のリレーのタイムでインターハイ出場資格を得ることになっていましたので、各選手は自分の個人のレースに加え、学校のためにリレーでも真剣に泳ぎ、出場権を獲得しました。

7月20日～22日に栃木県総合運動公園東エリア屋内水泳場にて関東高等学校選手権水泳競技大会兼日本高等学校選手権水泳競技大会予選（インターハイ予選）が行われました。その結果、男子2名・女子5名、合計7名の選手が個人種目でインターハイの出場権を得ました。また、女子は総合6位という結果を残すことが出来ました。

8月17日～20日に全国高等学校総合体育大会が長野県長野運動公園総合運動場総合市民プールにて行われました。この大会で、2年13組の岡村梨香が400m自由形で優勝し、200m自由形でも4位という結果を残しました。その他にも、1年8組の澤響花が200m背泳ぎで6位、1年12組の鈴木莉緒が100m自由形で6位、2年10組の飯田光達が400m個人メドレーで8位と、全国大会でそれぞれが活躍し、女子は総合8位となり総合入賞することができました。

東京都の高校在籍生徒で4月の試合からインターハイまでの各種大会の記録を参考に国体選手が選考されましたが、本校からは1年12組の鈴木莉緒、1年8組の澤響花、内藤花音の3名が東京都代表選手として選ばれました。しかし、この大会も三重県での感染者及び全国的に広がった緊急事態宣言の影響で、中止となってしまいました。

毎年 8 月に開催されている三多摩大会は、昨年度に引き続き、今年度も残念ながら中止となってしまいました。この大会は男子が 2019 年までに 48 連覇している大会です。

2021 年度のチームはこの大会をもって終了し、男女の新キャプテンに 9 月 1 日から引き継がれました。新型コロナウイルスとの闘いはまだまだ続きますが、どんなときも仲間と一緒にいて、普段はバラバラで練習をしてもそれぞれ努力をしている様子はお互いに良い影響を与えています。

2021 年 9 月より、私は産休&育休に入らせて頂きますが、現在体育科の丸田理香がその間、部をまとめ更なる活躍ができるように引っ張って行ってくれます。また、来年度は卒業生の助けを借りて、インターハイでも活躍してくれることになっております。少し客観的に水泳部の活動を見ることにより、今後に生かせる点等を改めて見つけたいと思っております。皆様のご協力も今後お願いすることになりますが、よろしくお願い致します。

本校水泳部のチーム作りは「憧れをもたれる先輩になれ」を目標に、指導をしています。上級生が自覚をもって下級生に手本となるような行動ができれば必ず良いチームとなり、結果に繋がります。今年度のチームは 3 年生がまずまとまり、上級生として模範となる行動できるよう 3 年生全体で何度もミーティングを重ねるところから始まりました。その努力や競技結果から下級生は刺激を受け、来年に向けた目標を新たに持つことが出来ました。

最後に、多大なご支援を頂いた八王子学園同窓会の皆様方に深く感謝申し上げます。2022 年度に向け気持ちを引き締め、東京都で男女総合優勝、全国大会で多くの選手が入賞し、学校に貢献できるよう頑張りたいと思いますので更なるご支援とご協力をお願い致します。

今年度は新型コロナの影響で、大会中も出場時間に入館、競技後すぐに退館となっていたため、水泳部全員での写真を撮ることができませんでした。これはインターハイでの集合写真です。同窓会の支援金で作らせて頂いたインターハイ記念 T シャツ（出場者の名前が背中に書かれています）とハーフパンツです。本当にありがとうございました。



## 甲子園“1勝”をめざして

八王子学園八王子高等学校

野球部監督 安藤 徳明

同窓会の皆様には日頃より多大なご支援とご協力を賜り深く感謝いたしております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、野球部の昨年秋から一年間の活動報告をさせていただきます。

昨年夏の第102回全国高校野球選手権大会西東京大会1回戦で、早稲田実業に6対8で敗退してから約2か月が経った9月、新チームの公式戦が、

2020(令和2)年度秋季東京都大会一次予選(ブロック予選)から始まり、新型コロナウイルス感染防止対策として、野球部員以外の会場への入場が認められない無観客で行われました。

1回戦の相手は都立町田です。先発投手の館野智靖(2年)は、1回裏、相手打者を三者三振に打ち取って好スタートを切った。しかし、2回裏一死後、5番打者に四球を与え、続く6番打者にレフトオーバーの二塁打を放たれて1点を先制されてしまいました。同点にされて迎えた3回表は、7番打者北澤友基(2年)が四球を選んで出塁しましたが、盗塁失敗、その後一死一、二塁とチャンスができましたが後続が断たれ得点できませんでした。4回、5回、6回と出塁してチャンスを作りますが、得点は入らずじまいでした。7回表、この回先頭打者の館野がライトへ二塁打を放ち、送りバントで三塁へ進塁、代打羽田慎之介(2年)レフトへの犠牲フライでやっと同点に追いつきました。9回表、この回先頭打者の館野がレフト前にヒットを放ちチャンスを作ると、一死二塁から羽田の右中間への二塁打で館野が生還して逆転しました。結果、2対1の辛勝で次へ駒を進めました。

次の試合は、本大会への出場がかかるA代表決定戦で、相手は私立の昭和第一学園です。1回表、1番打者の市橋優大(1年)が四球を選んで出塁、盗塁して二塁へ進み、次打者安藤健(2年)の右中間への三塁打で1点を先制しました。さらに3番打者落合俊介(2年)のセンターへの犠牲フライで1点を追加しました。3回表、この回先頭の落合がセンター前へヒットを放って出塁すると、すかさず二塁へ盗塁、一死三塁から5番打者渡邊凜之介(2年)のセンターへの犠牲フライで1点を追加し、3対0としました。その後は、5回を除き出塁してチャンスを作るものの追加点は取れませんでした。7回裏に1点を奪われて1点差とされましたが、先発投手の羽田慎之介(2年)は、被安打4、奪三振12、与四死球6で9回を投げ切りました。結果、3対1で勝利をおさめ、本大会への出場を決めると同時に、2021(令和3)年度春季高校野球大会本大会への出場も決めました。

10月中旬、秋季東京都大会本大会が始まりました。本大会は、マスク着用、検温、手指消毒、観戦者の人数制限、観戦方法の規制、球場への持ち込み品の規制など、『新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン』に基づいて様々な新型コロナウイルス感染防止対策が講じられる中、有観客で行われました。



1回戦の相手は都立富士森です。2回表、この回先頭の4番打者<sup>なかんだかり</sup>仲村渠翔太(2年)がレフト前にヒットを打ち出塁すると、相手のエラーや四球で一死満塁のチャンスから8番打者奥順哉(2年)のライト前ヒットで2点が入り、さらに次打者の渡邊凜之介(2年)のセンターへの犠牲フライで1点を加え、3対0と先制しました。しかし、先発投手の羽田慎之介(2年)が、一死二、三塁から相手三番打者にライトへ本塁打を放たれ、3対3の同点に追いつかれてしまいました。4回以降は打線がつながり、4回に1点、5回に2点、6回に1点を加えて7対3とし、この試合の主導権を握りました。7回表、一死二、三塁から9番渡邊のセンター前ヒットで2点が入り、一死一、二塁とチャンスはまだ続き、あと1点取って裏の相手の攻撃を0点に抑えればコールド勝ちが成立するということで、後続が打ち取られてしまいました。9回表に2点を加え、結果1対3で勝利し、2回戦へ駒を進めました。

2回戦の相手は、強豪校で甲子園出場の経験がある国士館です。3回まで投手戦が続きましたが、4回表、一死二、三塁からセーフティスクイズを決められて、相手に1点先制されてしまいました。その後は、先発投手の羽田慎之介(2年)が相手打線を8回まで散發4安打に抑え、9回表に四球を与えたところで、1年生の星野翔太がリリーフして相手打線を抑えました。攻撃陣は、3回以降ヒットを放って出塁するものの後続が打ち取られ、8回まで得点ボードに0が続きました。9回裏、この回先頭の5番打者小高健太郎(2年)がサードゴロエラーで出塁し、すかさず二塁へ盗塁してチャンスを作ります。その後、相手先発投手の制球が乱れて二死満塁となり、1番打者安藤健(2年)が四球を選んで押し出しで同点に追いつきました。次打者新田優樹(2年・主将)のセカンドへの内野安打で、三塁ランナー奥順哉(2年)が生還して2対1の逆転サヨナラ勝ちし、国士館の秋3連覇を阻止して3回戦へ駒を進めました。

3回戦の相手は、やはり強豪校で甲子園出場の経験がある日大鶴ヶ丘です。1回表、先発投手の羽田慎之介(2年)の不安定な立ち上がりで、一死後2連続死球を与え、二死一、二塁から5番打者にライト前ヒットを放たれ、1点を先制されてしまいました。攻撃陣は、相手投手に4回まで無安打に抑え込まれ、5回裏一死後、6番打者の羽田が左中間へ二塁打を放つも、後続が打ち取られて得点のチャンスを逃しました。6回裏、9番打者柳元珍(2年)が四球で出塁、1番打者安藤健(2年)の送りバントで二塁へ進み、続く主将の新田優樹(2年)のセンター前ヒットで一死一、三塁とチャンスが広がり、3番打者小高健太郎(2年)のライト前ヒットで同点に追いつきました。さらに、4番の渡邊凜之介(2年)が左中間を破る三塁打を打ち、新田、小高がホームインして3対1とし、一気に逆転しました。7回表、二塁打、内野安打、四球などで一死満塁と攻められましたが、羽田が後続を打ち取って無得点に抑えました。結果3対1で勝利し、準々決勝へ駒を進めました。先発した羽田は、9回を被安打6、奪三振10、与四死球6、投球数135球で完投しました。

準々決勝の相手は、春6回、夏8回甲子園に出場している強豪校の関東一高です。この大会屈指の右腕市川祐(2年)との対戦でもありました。1回表、1番打者安藤健(2年)がセンター前へヒットを打ち出塁し、続く2番新田優樹(2年・主将)のレフト前ヒットで無死一、二塁とチャンスを作りました。しかし、3番打者小高健太郎(2年)はセカンドゴロで併殺、4番打者渡邊凜之介(2年)はキャッチャーフライに倒れ、この回得点できませんでした。先発投手の星野翔太(1年)は1回、2回と無難に無得点に抑えていましたが、3回裏、一死後四球を挟んで2本のヒットで1点を取られ、先制されてしまいました。その後、4回に2点、5回には相手5番打者市川の左中間への三塁打などで3点を入れられ0対6、この試合の主導権を完全に握られてしまいました。6回裏、一死三塁で5回からリリーフした投手館野智靖(3年)の三塁へのけん制悪送球で1点を加えられました。攻撃陣は、2回の柳元



珍(2年)のレフト前ヒットを最後に、関東一高のエース市川に抑えられて無得点に終わり、結果0対7の7回コールド負けを喫してしまいました。2年生投手の羽田慎之介は、投げ過ぎからだろうか左肘に張りがあり、思っていた以上に張りが取れなかったことから、この試合マウンドに立って投げることができませんでした。打線も本格派投手の前では沈黙してしまい、春の大会に向けていくつもの課題が見えた試合だったと思います。

年が明け、1月8日、年末年始に首都圏で新型コロナウイルスの感染が急拡大したことを受け、政府から2回目の緊急事態宣言が東京、神奈川、千葉、埼玉を含む1都3県を対象に発出されました。当初、期間は2月7日までとされていましたが、医療提供体制が依然としてひっ迫していることなどから、政府は2月3日、3月7日まで宣言を延長すると発表しました。3月5日、政府は新型コロナウイルス感染拡大で病床のひっ迫状況の改善が不十分であると判断して、3月7日までの期限を3月21日まで2週間延長すると発表しました。これによって、東京都高野連は3月8日、3月20日に開幕予定だった2021(令和3)年度春季東京都高校野球大会一次予選を中止すると発表しました。多くの都立高校や私立高校がクラブ活動を停止している中、体力の低下が懸念されてけが等のリスクもあり、生徒の安全の確保ができないことや、日程と会場校の感染対策の問題から会場の確保や準備が難しいと判断して中止を決めたわけです。また、4月から行う予定の春季本大会は、昨秋の大会ですでに出場を決めている64校で実施すると合わせて発表しました。

年度が変わった4月、春季本大会が、健康のチェックや管理の徹底、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底などが盛り込まれた『新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン(有料観客試合)』に基づいて、有観客試合を原則として始まりました。

1回戦の相手は都立小平西です。1回裏二死後、3番打者新田優樹(3年・主将)が四球を選んで出塁、続く4番落合俊介(3年)がセンター前へヒットを放ち二死一、三塁とし、5番市橋優大(2年)のレフト前ヒットで1点を先制しました。2回裏、この回先頭の7番打者<sup>りゅう</sup>柳元珍(3年)がライト前へヒットを放ち、続く8番山口真佑(3年)のサードへのセーフティーバントで無死一、二塁とチャンスを作ります。9番打者館野智靖(3年)の送りバントで一死二、三塁とチャンスを広げると、1番打者小高健太郎(3年)のレフト前ヒットで1点が入りました。さらに、2番安藤健が四球を選んで一死満塁とし、続く3番新田も四球を選んで押し出し1点が入り、4番打者落合のショートゴロでもう1点が入って4対0、この試合の主導権を握りました。3回表に1点を返されましたが、その裏、8番打者山口のセンターオーバーのランニングホームランで2点を加えて6対1としました。その後、4回に1点、5回に2点を取って9対1としました。7回表、リリーフで登板した羽田慎之介(3年)が三者三振に打ち取り、結果9対1の7回コールドで勝利をおさめ、2回戦へ駒を進めました。

2回戦の相手は私立の上野学園です。2回に互いに1点を取り合いましたが、4回まで互角の戦いが続きました。均衡を破ったのが5回裏です。この回先頭の9番打者山口真佑(3年)がサード前へセーフティーバントをし、サードが一塁へ暴投、山口は二塁へ進みました。一死後、2番打者安藤健(3年)がライト線へ二塁打を放ち、山口が生還して1点が入りました。続く3番新田優樹(3年・主将)の送りバントで二死三塁とし、4番打者落合俊介(3年)のセンター前ヒットでもう1点が入り3対1としました。6回裏、この回から相手の投手が替わりました。しかし、制球が悪く、二死後から連続3四死球で満塁、2番打者安藤の走者一掃の右中間二塁打で3点を取り6対1とし、この試合の主導権を握りました。7回表、二死から4連続ヒットで2点を取られ6対3とされましたが、その裏、この回からまた投手が替わり、二死三塁から8番打者柳元珍(3年)のセンター前ヒットで1点を取り、さらに続く山口が左中間へ二塁打を放ち二死二、三塁としました。続く1番小高健太郎の代打安藤宏之

輔(3年)が四球を選んで二死満塁とチャンスを広げ、この試合すでに3安打している2番安藤がライトオーバーの三塁打を放ち、走者一掃3点が入り、結果10対3の7回コールドで勝利し、3回戦へ駒を進めました。

3回戦の相手はやはり私立の専大付です。2回まで相手投手の変化球を織り交ぜた投球に、各打者はタイミングが合いませんでしたが、打順が一巡した三回表一死から、1番打者安藤宏ノ輔(3年)がセンター前ヒットで出塁し、続く2番安藤健(3年)がレフト前へヒットを放って一死一、二塁とし、二死後、4番打者落合俊介(3年)が死球で二死満塁とチャンスが広がり、5番星野翔太(2年)のショートへの内野安打で1点を取って先制、続く6番北澤友基(3年)の死球で押し出し1点が入りました。さらに、7番打者手島英雄(2年)のセンター前ヒットで2点を加えて4対0、この試合の主導権を握りました。先発投手の星野翔太(2年)は、4つ四球を与えたものの相手打線を5回までノーヒットに抑え、得点ボードに0が並びました。6回表、二死から9番打者山口真佑(3年)の左中間への二塁打を口火に、4本のヒットと2四死球を絡めて打者一巡の猛攻で一気に6点を取り、10対0としました。6回裏、先発の星野に代わって羽田慎之介(3年)がマウンドに立ち、四球を1つ与えましたがノーヒットで打ち取りゲームセット。結果、10対0の6回コールドで勝利し、準々決勝へ駒を進めました。

準々決勝の相手は、ここ10年間の対戦成績が1勝4敗で、この春の第93回選抜高校野球大会に出場した強豪校の東海大菅生です。試合は、小雨が降る中始まりしました。3回表、二死から2番打者安藤健(3年)がライト前へヒットを放ち、続く3番新田優樹(3年・主将)が死球、4番打者落合俊介(3年)が四球を選んで満塁、一打先制のチャンスを作りました。しかし、5番打者星野翔太(2年)はサードゴロで三塁封殺となり無得点で終わりました。その裏、好投していた先発投手星野翔太(2年)が相手の打線につかまり、二死二塁から2番打者にセンター前へヒットを放たれ1点を先制されました。続く三番打者のレフト線への二塁打で二死二、三塁とされました。5番打者の時にバッテリーエラーがあり、さらに1点が入ってしまいました。まさにチャンスの後にピンチありという状況でした。5回裏、投手星野は、この回先頭の1番打者に四球を与えたところで、マウンドを館野智靖(3年)に譲りました。館野も相手3番、4番打者に連続ヒットを放たれて1点を取られてしまい0対3、この試合の主導権は相手に握られてしまいました。6回からは、渡邊凜之介(3年)が館野に代わってマウンドに登りましたが、6回に1点、7回に1点を入れられてしまいました。打線は、先発した相手投手櫻井海理(3年)の緩急をつけた丁寧な投球の前に、6回を散發4安打無得点に抑えられ、さらにリリースした鈴木泰成(2年)には3回を被安打2、奪三振7の無得点に抑え込まれ、結果0対5で敗れてしまいました。チームは、秋季大会に比べれば確かに力がついてきたといえると思いますが、守備のミスが失点につながってしまったこと、各打者が140キロを超える速球にキレの鋭い変化球を織り交ぜた投球に翻弄されてヒットを打てなかったことなどが、この試合の敗因につながったのではないかと思います。また、この試合は羽田慎之介(3年)を先発させて4、50球投げさせる予定でしたが、雨が降り続き、いつ試合が中止になってもおかしくない状況であり、途中で中止になった場合は明後日再試合の可能性があったので、無理をさせて投げさせなくなかったため星野を先発させました。総合力が高く甲子園出場の経験がある強豪校を相手にして互角に戦うには、打撃力をもっともっと向上させること、投手力や守備力をもっともっと伸ばすこと、機動力を高めることなど、今後への課題が見えた試合でもありました。

7月3日、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が発令している中、第103回全国高等学校野球選手権大会東・西東京大会開会式が神宮球場で行われました。例年と違い、コロナ禍というこ

ともあって、入場行進する生徒は主将とプラカードを持つ生徒の2人に限られました。翌日から、東・西東京大会が、春季本大会の時と同様に、健康のチェックや管理の徹底、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底などが盛り込まれた『新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン(有料観客試合)』に基づいて、有観客試合を原則として始まりました。八王子高校は、春季本大会でベスト8になりましたので、西東京大会は第3シード校として3回戦からの登場となりました。

初戦の相手は、都立国分寺です。一回裏、1番打者安藤健(3年)がセカンドエラーで出塁し、続く2番手島英雄(2年)のレフトオーバーの二塁打で無死二、三塁とし、一死後、4番打者落合俊介(3年)のファーストへの内野安打で2点が入りました。さらに、5番小高健太郎(3年)の右中間へのヒットで一塁ランナー落合が一気に生還して3点目、6番新田優樹(3年・主将)が四球で一死一、二塁、7番柳元珍(3年)のセカンドゴロで二塁封殺、二死一、三塁から8番打者北澤友基(3年)のセンター前ヒットで4点目が入りました。9番館野が死球で二死満塁、1番安藤のレフト前ヒットで2点が入り6対0、打者一巡11人の猛攻でこの試合の主導権を握りました。4回裏に2点を加えて8対0となりましたが、5回表、先発投手の代打に2点本塁打を放たれるなど3点が入ってしまい8対3となりました。その裏、リリーフした相手投手の制球が良くないこともあり、1番から始まる打順で、打者9人、2本のヒットと4つの四死球で一気に4点を取って12対3としました。6回裏、無死満塁から4番打者落合がライト前へヒットを放ち1点が入り、結果13対3の6回コールドで勝利し、4回戦へ駒を進めました。

4回戦の相手は、私立の都市大高です。1回表を先発投手星野翔太(2年)が三者凡退に抑え、その裏、相手守備のエラーや4番打者落合俊介(3年)のライト前ヒットなどで3点を取りました。3回裏、この回先頭の2番打者手島英雄(2年)のセンター前ヒットを口火に打線がつながり、2つの四死球などで一死満塁とし、6番星野のライト前ヒットなどで3点が入り6対0、さらに二死一、三塁から代打蓑原崇太(3年)のレフトオーバーの二塁打で2点を加え8対0とし、この試合の主導権を完全に握りました。4回裏、二死二塁から5番打者奥順哉(3年)のレフトオーバーの二塁打で1点が入り9対0、あと1点を取って表の相手の攻撃を0点に抑えればコールド勝ちが成立するということで、6番星野が空振り三振に倒れてしまいました。5回裏は一死二塁、6回裏は二死一、三塁と得点チャンスを作るものの、あと1本ヒットが打てず、いずれも無得点に終わりました。結果、星野、渡邊凜之介(3年)、利倉康生(3年)と3人の投手が継投で相手打線を7回散発5安打無得点に抑え、9対0の7回コールドで勝利し、5回戦へ駒を進めました。

5回戦の相手は、都立狛江です。2回裏、この回先頭の4番打者落合俊介(3年)が左中間へ二塁打を放ち出塁すると、5番奥順哉(3年)の送りバントで一死三塁とし、6番新田優樹(3年・主将)のスライズで1点を取って先制しました。4回表、二死二塁から、先発投手館野智靖(3年)が相手1番打者にセンター前へヒットを放たれて1点が入り同点とされました。さらに二死満塁から3番打者に四球を与えて押し出しで1点が入り1対2と逆転されてしまいました。その裏、この回先頭の2番打者手島英雄(2年)がライト前へヒットを放ち出塁し、盗塁を決めて無死二塁としました。続く3番市橋優大(2年)のバントを相手投手が1塁へ暴投、二塁ランナーの手島が生還して同点に追いつきました。さらに、4番落合のセーフティーバントで無死一、三塁とし、続く5番奥がスライズを試みるがバットにボールが当たらず、三塁ランナーの市橋がタッチアウトとなり逆転のチャンスを逃してしまいました。5回表、この回先頭の相手5番打者に右中間へ二塁打を放たれ、続く6番打者のセンターライナーを北澤友基(3年)がエラーして無死二、三塁とされました。7番打者のレフト前ヒットで1点を入れられ2対3、再び逆転されてしまいました。6回、7回、8回と館野をリリーフした星野翔太(2

年)が相手打線を1安打に抑え、9回表は渡邊凜之介(3年)が三者凡退に抑えました。しかし、投手陣の踏ん張りを攻撃陣が答えてくれませんでした。7回裏は二死一、二塁と得点チャンスを作るものの、あと1本ヒットが打てず無得点。8回裏は、一死後、1番打者安藤健(3年)がライトオーバーの二塁打を放って出塁、続く2番手島のセンター前ヒットで、二塁ランナー安藤健が本塁を狙うも、センターからの好返球でタッチアウト。9回裏は二死一、二塁から代打に羽田慎之介(3年)を送るが、センターへの飛球となり、センターがキャッチしてゲームセット。結果、2対3で敗れてしまいました。打線は、相手投手の緩急を織り交ぜた粘りの投球の前に、10安打したものの得点チャンスにヒットがあと1本打てませんでした。また、守備のミスも多く、それが失点につながってしまった場面もありました。この試合の敗因を振り返ると、立ち上がりから重たい雰囲気、1点を先制した後、早く点を、早く点をとったことだったかもしれません。エース羽田慎之介(3年)の登板については、あまり無理をさせたくなかったため、この試合に勝てば次の試合に投げさせる予定でした。とても悔しさとやり切れない気持ちが残った試合でした。これからは、選手一人一人のレベルアップを図るとともに、練習で取り組んできた自分たちの野球が試合でしっかりと発揮できるよう、チーム全体のレベルアップも今後の課題として取り組んでいきたいと思いました。

現在の部員数は、現役を退いた3年生22人を除いて、2年生23人、1年生20人、そして女子マネージャー2年生2人、1年生2人の計47人です。今夏の西東京大会での悔しい敗戦後、投手力はもちろんのこと打撃力や守備力のレベルアップ、部員一人ひとりのレベルアップなどを図り、練習内容をより充実させて毎日夜遅くまで練習に取り組んできました。また、8月中旬、例年通り関西遠征に出かけ、強豪校を相手に練習試合をこなして、2年生の市橋優大を主将とする新チームは、実戦力を磨き上げてきました。

2021(令和3)年度の秋季東京都大会は、9月4日から一次予選(ブロック予選)が始まり、わが野球部は、一次予選を勝ち上がって本大会への出場を決めました。9月27日の抽選会を経て、10月2日から本大会が始まり、熱戦が繰り広げられます。自分たちも絶対に甲子園に行きたいという2年生メンバーに、実力派ぞろいの1年生が加わった新チームが、これからの大会で大いに躍動します。甲子園“1勝”をめざして、甲子園でバックネットを背にして校歌を歌うことをめざして、『必勝 ありんこ軍団』を合言葉に、指導者、選手、ベンチ、スタンドが一体となった「全員野球」で各大会に臨む所存でございます。

今後とも、同窓会の皆様方には相も変わらぬご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

《戦績》

◇2020(令和2)年度 秋季東京都高等学校野球大会 一次予選

第22ブロック 1回戦 2020.9.20 於：八王子高校柚木野球グラウンド

**八王子** 0 0 0 0 0 0 1 0 1 2

多摩大目黒 0 1 0 0 0 0 0 0 0 1

投手—捕手：館野(2年)—柳(2年)

第22ブロック A代表決定戦 2020.9.22 於：八王子高校柚木野球グラウンド

**八王子** 2 0 1 0 0 0 0 0 0 3

昭和一学園 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1

**[本大会出場へ]**

投手—捕手：羽田(2年)—柳(2年)

◇2020(令和2)年度 秋季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 2020.10.19 於：上柚木公園野球場

**八王子** 0 3 0 1 2 1 2 0 2 11

富士森 0 0 3 0 0 0 0 0 0 3

投手—捕手：羽田(2年)，館野(2年)—柳(2年)

2回戦 2020.10.25 於：ダイワハウススタジアム八王子(旧八王子市民球場)

国士館 0 0 0 1 0 0 0 0 0 1

**八王子** 0 0 0 0 0 0 0 0 2× 2

投手—捕手：羽田(2年)，星野(1年)—柳(2年)

3回戦 2020.10.31 於：ダイワハウススタジアム八王子

日大鶴ヶ丘 1 0 0 0 0 0 0 0 0 1

**八王子** 0 0 0 0 0 3 0 0 × 3

投手—捕手：羽田(2年)—柳(2年)

準々決勝 2020.11.8 於：ダイワハウススタジアム八王子

**八王子** 0 0 0 0 0 0 0 0

**関東一** 0 0 1 2 3 1 × 7 (7回コールド)

投手—捕手：星野(1年)，館野(2年)—柳(2年)

◇2021(令和3)年度 春季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 2021.4.4 於：ダイワハウススタジアム八王子

小平西 0 0 1 0 0 0 0 1

**八王子** 1 3 2 1 2 0 × 9 (7回コールド)

投手—捕手：館野(3年)，渡邊(3年)，羽田(3年)—柳(3年)

2回戦 2021.4.7 於：ダイワハウススタジアム八王子

上野学園 0 1 0 0 0 0 2 3

**八王子** 0 1 0 0 2 3 4× 10 (7回コールド)

投手―捕手：星野(2年), 舘野(3年), 渡邊(3年)―柳(3年)

3回戦 2021.4.11 於：都営駒沢球場

**八王子** 0 0 4 0 0 6 10

専大付 0 0 0 0 0 0 0 (6回コールド)

投手―捕手：星野(2年), 羽田(3年)―柳(3年)

準々決勝 2021.4.17 於：ダイワハウススタジアム八王子

八王子 0 0 0 0 0 0 0 0 0

**東海大菅生** 0 0 2 0 1 1 1 0 × 5

投手―捕手：星野(2年), 舘野(3年), 渡邊(3年)―柳(3年), 作用(2年), 簗原(3年)

◇第103回全国高等学校野球選手権大会 西東京大会

3回戦 2021.7.17 於：スリーポンドスタジアム八王子(旧八王子市民球場)

国分寺 0 0 0 0 3 0 3

**八王子** 6 0 0 2 4 1× 13 (6回コールド)

投手―捕手：舘野(3年), 星野(2年)―柳(3年)

4回戦 2021.7.22 於：スリーポンドスタジアム八王子

都市大高 0 0 0 0 0 0 0 0

**八王子** 3 0 5 1 0 0 × 9 (7回コールド)

投手―捕手：星野(2年), 渡邊(3年), 利倉(3年)―柳(3年), 簗原(3年)

5回戦 2021.7.25 於：スリーポンドスタジアム八王子

**狛江** 0 0 0 1 0 0 0 0 0 3

八王子 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2

投手―捕手：舘野(3年), 星野(2年), 渡邊(3年)―柳(3年)

## 同窓会役員及び同窓会選出法人役員名簿

令和3年10月1日 現在

### ◇八王子学園同窓会役員

役職	氏名	卒業回	卒業年
会長	山田 実	高25回	昭48年卒
副会長	坂本 利男	高8回	昭31年卒
〃	根本 明	高16回	昭39年卒
会計	武藤 富美子	高20回	昭43年卒
〃	鴨居 邦子	高21回	昭44年卒
理事	内藤 一彦	高2回	昭25年卒
〃	田中 克子	高14回	昭37年卒
監事	長谷部 建司	高16回	昭39年卒
〃	池上 洋平	高59回	平19年卒

### ◇八王子学園法人役員

役職	氏名	卒業回	卒業年
理事	山田 実	高25回	昭48年卒
〃	根本 明	高16回	昭39年卒
評議員	内藤 一彦	高2回	昭25年卒
〃	坂本 利男	高8回	昭31年卒
〃	田中 克子	高14回	昭37年卒
〃	根本 明	高16回	昭39年卒
〃	長谷部 建司	高16回	昭39年卒
〃	武藤 富美子	高20回	昭43年卒
〃	鴨居 邦子	高21回	昭44年卒

# 八王子学園同窓会

事務局

〒193-0931

東京都八王子市台町4-35-1

八王子学園八王子中学校・高等学校内

TEL 042-623-3461

FAX 042-626-5646

URL <http://www.hachioji.ed.jp/>